

# 大阪の道、生きた建築、昔の御堂筋をパネルで紹介 地域とのあゆみ展

【主催】大阪・光の饗宴実行委員会【共催】御堂筋完成80周年記念事業推進委員会



2017  
12/14～  
12/25

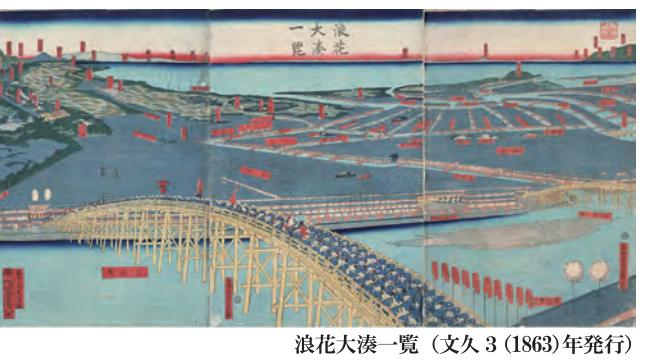


## 【場所】 大阪市役所1階市民ロビー

2017(平成29)年に15周年を迎える「OSAKA光のルネサンス2017」の一環として、御堂筋を中心に、大阪の道や地域に現存する近代建築、そして人びとの生活の関わりを歴史的、文化的側面から紹介したパネルを展示しました。

## 大阪市の道路 沿革

大阪市の道路の原形は、豊臣秀吉が大坂城を築城するときに構想したもので、碁盤の目のように整然と配置されていました。江戸時代にはこれらの道路が少しづつ整備され、経済都市としての基盤がかためられていきました。しかし、その道路は人馬や牛車が行き来できる程度の貧弱なものでした。



資料提供:大阪府立中之島図書館 所蔵

1889(明治22)年に大阪市制が施行され、近代的な都市計画が求められ、1903(明治36)年には第5回内国勧業博覧会を契機とした大阪市最初の市電が開通しました。これにともなって狭い道路の拡幅が進められました。

1919(大正8)年には、大阪市区改正設計が決定され、近代都市計画による道路建設の第一歩が踏み出されました。

戦後は、復興計画に基づいて将来の交通を予測して路線や幅員を定め、1953(昭和28)年から本格的な整備を行いました。その後、1970(昭和45)年の日本万国博覧会や1990(平成2)年の国際花と緑の博覧会、1994(平成6)年9月に開港した関西国際空港など大規模プロジェクトに関連させながら様々な道路整備を行ってきています。

## 御堂筋周辺の空撮 1929(昭和4)年

拡幅前の御堂筋は、道幅6メートル、北の淡路町から南の長堀まで約1.3キロメートルの狭く短い道でした。昭和初期の写真を見ると、拡幅以前の御堂筋を確認することができます。

写真提供:大阪歴史博物館



2017  
6/21～  
7/5

## 御堂筋・大阪港を描こう展

【主催】大阪を描こう会／御堂筋完成80周年記念事業推進委員会／大阪港開港150周年記念事業推進委員会  
【共催】大阪観光局  
【後援】大阪市・ミナミまち育てネットワーク

## 【場所】 大阪市役所1階正面玄関ホール

大阪を描こう会と大阪観光局との連携(協力:ミナミまち育てネットワーク)により、大阪市役所1階正面玄関ホールにおいて御堂筋・大阪港をテーマとする絵画作品展を開催しました。

2017  
8/15～  
8/28

## 道路における公民連携 ワークショップパネル展

【主催】御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

## 【場所】 大阪市役所1階正面玄関ホール ほか

現在の御堂筋における各利活用の取組み等について情報発信するとともに、パネル展示にあわせ市民アンケートを実施し、一般の道路を利用されているみなさまからのご意見を広くお聞きしました。

2017  
9/8～  
9/24

## 水の都・大阪ワークショップ とんぼりリバーウォーク写真・絵画展

【主催】御堂筋完成80周年記念事業推進委員会  
【共催】一般財団法人 都市技術センター  
【協力】南海電気鉄道株式会社

## 【場所】 とんぼりリバーウォーク(新戎橋から大黒橋の区間)

8月1日からたくさんの方々に提出いただいた、道頓堀川の未来、想い入れのある道頓堀川の過去や現在の姿を表現した写真や絵画を展示了しました。

2017  
10/27～

## 水の都・大阪ワークショップ とんぼりリバーウォークパネル展

【主催】御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

## 【場所】 とんぼりリバーウォーク(道頓堀橋)

市民の皆様に水辺に親しみを持ていただくため、「水の都・大阪」の歴史・魅力等を情報発信し、あわせて、御堂筋の歴史や記念事業における取組みについて紹介しました。

2017  
10/2～  
10/4

## 地下空間の利活用ワークショップ パネル展

【主催】御堂筋完成80周年記念事業推進委員会

## 【場所】 大阪市役所1階正面玄関ホール

御堂筋の地下にある、地下鉄や地下街、ライフラインなど様々な公共施設を紹介するパネルを展示することで、市民の皆様に道路の地下空間の利活用について理解を深めていただくパネル展を開催しました。

